

福島県内の公立小学校における農作業体験学習実態調査結果

平成27年2月10日

福島県農村振興課

1 調査目的

県内公立小学校において、「田んぼ」「畑」を活用し農作業について体験を通して学ぶ授業（以下、農作業体験学習）の実施状況を把握する。

2 調査概要

対象：県内公立小学校 469 校（平成 26 年 4 月 1 日現在。休校中は除く。）

方法：アンケート用紙を各小学校に配布し、FAX 及び E-mail により回収

期間：平成 26 年 6 月 24 日～7 月 18 日（25 日間）

回答校数：412 校（回答率 88%）

3 調査結果

※単位は全て「校」とする。

◆平成 26 年度の農作業体験学習実施状況について

農作業体験学習を実施する小学校数は東日本大震災直後の平成 23 年度に急減したが、その後着実な回復傾向にある。

問 1-1 今年度、農作業体験学習を行っているか。

	県全体	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
はい	267	54	61	32	47	11	31	31
いいえ	145	42	47	6	9	1	8	32
実施率	65%	56%	57%	84%	84%	92%	80%	49%

問 1-2 どのような農作業体験をしているか。（複数回答可）

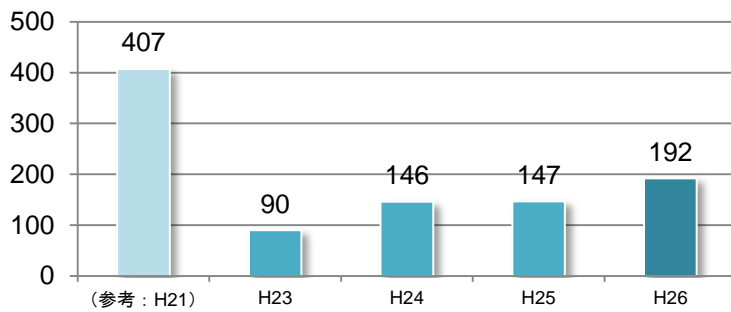
※本年度実施校：267 校

田んぼ		バケツ稲		畑		プランター等	
田植え	稲刈り	田植え	稲刈り	種まき ・苗植え	収穫	種まき ・苗植え	収穫
91	93	151	149	151	149	110	101

草取り 肥料やり	分けつ 調査	生きもの調査	かかし づくり	農作業 見学	農業施設見学	その他
138	19	36	13	49	21	49

（その他内訳）収穫祭、モニタリング・水質調査、販売活動等

(参考) 平成 23 年度以降に田んぼ・畑で年 1 回以上
農作業体験学習を行った小学校数※の推移



※問 1 - 2 の田んぼでの田植え、
稲刈り、畑での苗植え、収穫のう
ちいずれか 1 つ以上を実施してい
る学校数

農作業体験学習の協力者は地元農家や農協であることが多い。
また、総合的な学習の時間に実施されることが多くなっており、学年別では 2 年生及び 5 年生で実施される割合が高くなっている。

問 1 - 3 農作業体験学習における協力者は誰か。(複数回答可)

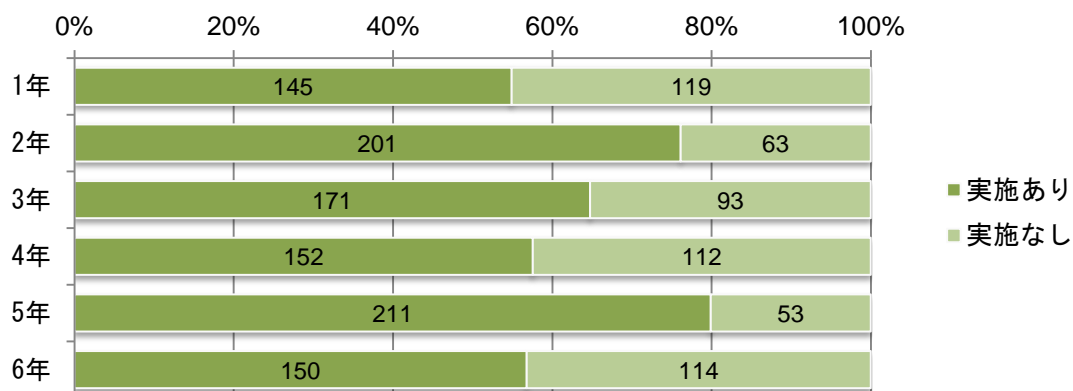
地元農家	農協	保護者	NPO等	市町村	県	土地改良区	その他	協力者なし
133	104	91	17	16	7	5	31	29

問 1 - 4 農作業体験学習はどのような時間を使って実施しているか。(複数回答可)

総合的な学習の時間	理科・社会等	その他
209	116	42

問 1 - 5 農作業体験学習を実施しているのは何年生か。(複数回答可)

※無回答：10 校



◆農作業体験を実施していない学校について

農作業体験を実施していない理由のうち、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する理由は依然多いものの、その回答数は昨年の半分程度となっている。

また、実施していない小学校のうち71%が、農地や実施時間の確保等の条件さえ整えば農作業体験学習を実施したいと回答している。

問2-1 実施していない理由は何か。(複数回答可)

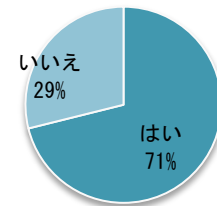
※本年度未実施：145校(昨年度253校)

放射線への対応について、保護者等の理解を得るのが困難。	69校(147校)
東日本大震災の影響により、田んぼ・畑の利用ができない。	59校(104校)
「総合的な学習」の時間が短縮され、割ける時間がない。	40校(44校)
周辺に田んぼ・畑がない。	38校(42校)
地域の協力体制等の調整が困難。	16校(25校)
予算が少ないため、実施が困難。	12校(11校)
その他(震災による避難・移転、除染未実施等)	17校(29校)

問2-2 条件が整えば、農作業体験学習を実施したいと思うか。

※無回答：10校

はい	いいえ
96	39



単位：校

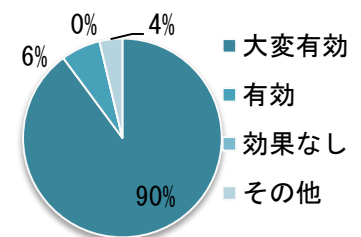
◆農作業体験学習に対する評価について

90%の小学校が、農作業体験学習は大変有効な学習であると感じている。

問3 農作業体験学習に対して、どのような感想を持っているか

※回答数：404校

児童が学ぶことは多く、大変有効である。	363校
有効性はあるが、他の体験学習に比べて優位性はない。	26校
教育的効果を期待できない。	0校
その他	15校



単位：校

4 まとめ

本県の公立小学校における農作業体験学習は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受け、その実施を大きく制限されているものの、田んぼ・畑における取組数は回復傾向にある。また、農作業体験学習の教育効果は広く認識されており、未実施校においても実施意向は高い。